

近況報告(現状と課題・取り組み)

(1) 施設部門

① 特別養護老人ホーム阿品清鈴

現状と課題	取り組み
1. 風邪などの症状から肺炎になる方が多く、入退院が増えた。 2. 急に逝去される方が続き、新規入所が続いた。	1. 早めに対応しているので、入院期間が短く済む方が多かった。 2. 時期的な事もあり急変が続いたので、引き続き配慮する。新規入所の方には早めに声かけさせて頂き、スムーズな入所に繋がっている。

② ケアハウスささえ

現状と課題	取り組み
1. 二人部屋の入居をすすめる。 2. 入・退居、居室間の移動や、入退院など、入居者の方の異動が多い。	1. ホームページの更新や、広報活動を展開していく。 2. スムーズに新しい環境に馴染めるように支援していく。

(2) 在宅部門

① 短期入所生活介護事業所第2 清鈴園(ショートステイ)

現状と課題	取り組み
1. 併設の特養の空床を利用し、緊急受入や利用日の調整を行った。 2. 空いている日が少なく、利用の希望を頂いても調整が難しい。	2. 声かけを頂いたご利用者や居宅を確認し、順次お声かけを行っている。

② デイサービスセンター第2 清鈴園(一般型)

現状と課題	取り組み
1. 上半期と比較すると、徐々に稼働率は安定してきた。 2. 要支援の方を対象とした加算プログラムの一つ「元気な体操」の担当者が交代となった。	1. 今後も新規受け入れをスムーズに行うとともに、ご利用者の状態に合わせた移行も実施する。 2. 今までは一人の担当者のみが担当していたが、現在は数名の職員が関われる体制をとっている。今後も勉強会を実施するなどし、担当できる職員を増やしていく予定。

③ デイサービスセンター第2 清鈴園地御前北2丁目集会所(愛称:お〜い予防教室)

現状と課題	取り組み
1. 体験や見学などの動きはあるものの、受け入れに繋がっていない。午後からの実施も念頭に入れ登録を増やしていくことが課題	1. 5月に六本松のサロンに訪問しコグニサイズの実演とPRを行う予定 2. 3月から新規ご利用者と見学を予定している。

④ デイサービスセンター第2 清鈴園本町集会所(通称:本町デイ)

現状と課題	取り組み
1. 12月から取り消しや入院を含めると3名減となっている。タイムリーな新規の受け入れが課題となっている。3月に体験者2名を予定している。	1. サロン等に訪問しPR活動を行う予定。

⑤ デイサービスセンター第2 清鈴園廿日市一丁目集会所(通称:廿日市デイ)

現状と課題	取り組み
1. 2月に新規の受け入れがあったが、引き続き登録者数が少ない状況にある。	1. 地域包括や関係機関へ訪問しPRを行っていく。 2. BizFAX を利用し、タイムリーな空き情報を伝える。

⑥ 認知症専用デイサービスセンター第2 清鈴園(愛称:ここの音)

現状と課題	取り組み
1. 下半期に入り、ご利用者の高齢化や認知症の進行により、在宅生活の継続が困難な状況になってきたことから、稼働率の低下が深刻な状況になっている。	1. 毎月、Biz Fax を利用し曜日毎の空き情報と当デイのタイムリーな特色を他居宅介護支援事業所に送付している。

⑦ 訪問介護事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 入退院が、続いている。ケースの増減が激しくなっている事が課題となっている。	1. 空き時間を利用して、ケースの引き継ぎを行う。 2. (2)BizFAX を利用して空き情報を送る。

⑧ 居宅介護支援事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 体調不良による入院、入所が多い。介護者の体調不良によるショート長期利用が必要となるケースも増えており、ショートの確保が難しい時がある。 2. 職員の入れ替わりの為、業務の引き継ぎを行っている。	1. 優先順位を精査しながら、状況に応じてサービス調整を行う。 2. 声掛けしやすい環境を作り、密な引き継ぎ、疑問点を解決するように実施している。

(3)その他

① 廿日市市配食サービス

現状と課題	取り組み
1. 入所や入院、本人の希望等も重なり、配食数が減少している。 2. ボランティアさんの活動休止や、ボランティアの高齢化が進んでいる。	1. 包括支援センターとの連携、情報の共有に努める。 2. 配達方法、直配についての再協議。

② 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

現状と課題	取り組み
1. 現在は訪問件数が減っているため、訪問可能な支援員がいるが、今後、訪問が増えた場合、対応できない可能性がある。	1. 来年度2回開催のやすらぎ支援員養成基礎研修を確実に定員20名受講していただき、訪問可能な支援員を増やす。

③ 出張介護教室・出前コグニサイズ

現状と課題	取り組み
(出張介護教室) 1. 今年度(9~2月)開催3回 (出前コグニサイズ) 1. 廿日市市以外の団体からの依頼や問い合わせが多い	(出張介護教室) 1. 継続して阿品・阿品台地区のサロンを中心に参加させていただくと共に、先方のニーズに応じた内容を立案・提案していく 2. 早速、4月~シリーズ開催で、阿品市民センター主催の介護教室を共同企画し、開催することとしている (出前コグニサイズ) 1. 廿日市内のサロン等でも活用してもらえようように、市内中心の広報に取り組む

④ その他

現状と課題	取り組み
(人材育成) 1. 階層別研修を計画的に開催し、部署間実習や他施設との相互実習を継続している 2. 新たなカリキュラム(中堅層・指導者層研修)作りに取り組み中 (やすらぎ支援員養成基礎研修) 1. 今年度2回講座を開催し、修了者10名。今	(人材育成) 1. 2017年度の計画を作成中 2. より意義のある研修となるように、国の定める認知症介護研修の新カリキュラムや全国社会福祉協議会発行のテキストを参考に、カリキュラムの見直しをすすめる。 (やすらぎ支援員養成基礎研修) 1. 1回の定員10名で最大20名養成枠があ

年度より開催した、廿日市市介護予防・生活支援員養成研修と同時開催し、同時受講者も募った。

(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)

1. 今年度より、廿日市市は、介護予防生活支援総合事業に着手し、緩和された基準のサービスを開始した。その緩和されたサービスのうち、訪問型サービスA(住民が廿日市市の一定の研修を受講することでが従事できる)が始まり、その一定研修として「廿日市市介護予防・生活支援員養成研修」を年2回開催した。24時間の講義実習の内容で定員は20名とした。第1回は15名の受講、第2回は10名の合計25名が修了した。修了者のうち、実際に訪問型サービスAの従事者としては1名が稼働している。

るが充足率50%の結果だったので、広報を徹底し、早めの計画と早めの募集に着手。来年度の開催は市広報に掲載依頼中。また、受講の利便性を考え、来年度の第2回目はゆめタウン廿日市内にある廿日市市民ホールで開催予定としている。

(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)

1. 来年度も出来るだけ多くの方に受講していただくために、早めに年間計画を立てるとともに、やすらぎ支援員養成基礎研修と同様に受講の利便性を考え、来年度の第2回目はゆめタウン廿日市内にある廿日市市民ホールで開催予定としている。
2. 修了者が、訪問型サービスA従事者として稼働できる場が増えるように、担当課と調整中。